

手動合成枕木ポイントN-PR541-15-SY(F)・N-PL541-15-SY(F) 共通説明書

Manual Points for Synthetic Sleeper
N-PR541-15-SY(F)/N-PL541-15-SY(F)

レール(ファイントラック)は、ご使用になる前に本説明書をよくお読みのうえ、取り扱いには十分ご注意のうえご使用ください。

●ファイントラック取り扱い上の注意

1. レールの着脱は水平に行なってください。ひねったりしないようご注意ください。無理な角度での引き抜きや差し込みを繰り返しますと、ジョイナーなどレール先端をいためます。
2. 運転する前にはレールが確実に接続されているか確認してください。接続したレールどうしに段差がありますと車両が脱線するばかりか、レールを早くいためる原因になります。
3. パワーユニットから電気をレールに給電する場合は、専用のD.C.フィーダーをご使用ください。
4. レールの通電機能を良好に保つために、こまめに、すべてのレールを、トミックスレールクリーナーなどでみがいた後、乾布きしてください。特に油などを付けないようご注意ください。
5. 道床(ベース部分)はABS樹脂製ですので、高温の場所(直射日光のあたるところ、暖房器具の近くなど)に長時間放置しないでください。変形する可能性があります。また、シンナー等の薬品にもご注意ください。

レール道床の色は塗装方法上、バラつきがあります。ご了承ください。

模型取り扱い上のお願ひ

●使用上のご注意

1. 先端レールを直接指などで動かしたり、無理な力を加えたりしないでください。変形して機能が損なわれるおそれがあります。
2. 湿気やホコリの多い場所、暖房機具の近くなど温度の高くなる所でのご使用や保管は、模型に悪い影響を与えますのでおやめください。
3. 注油しないでください。また、ボンドや水分やゴミ、チリなどがポイントにはいらないようご注意ください。作動不良や通電不良の原因となります。
4. 無理な力を加えて曲げたり、落としたり、上に重いものをのせないでください。故障の原因となります。
5. ポイントNの駆動には永久磁石を使用していますので、磁性体の近くのご使用はお避けください。動作が不安定になる場合があります。
6. 駆動ユニットは必要時以外、むやみに着脱しないでください。故障の原因となります。
7. 固定式レイアウトでのご使用など、駆動ユニット付近にバラストやストラクチャーなどを配置する場合は、駆動ユニットが交換できるよう、取りはずしを考慮のうえ配置してください。
8. 塗装される場合は、駆動ユニット及びポイント作動箇所(レール)に塗料がかからないように注意してください。動きがにぶくなるおそれがあります。また、先端レールは支点(フロッグ側)から通電する方式のため、支点部に塗料をかけないよう、ご注意ください。

●電動化について

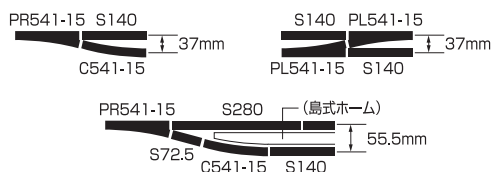
このポイントは、駆動ユニットを別売の、<0107>ポイントN用駆動ユニット(F)に交換することにより、ポイントコントロールボックスを使用した操作が可能となる電動ポイントに発展できます。電動化を行なった場合の本製品は、<1281/1282>電動合成枕木ポイント(F)と同仕様となります。したがって製品の取り扱いについては▶のリンク<1281/1282>電動合成枕木ポイント(F) 共通説明書をご覧ください。



<1281/1282>共通説明書

●ポイント使用時の寸法

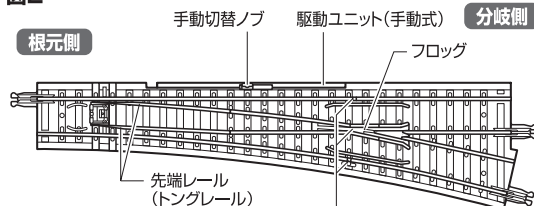
図1



●セット内容

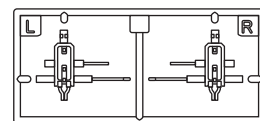
本製品は以下の内容となっています。付属のパーツはランナーよりていねいに切りはなし、説明にしたがって順番に取り付けてください。なお、刃物などの工具を使用する際は、ケガなどのないよう十分ご注意ください。

図2



※図はN-PR541-15-SY(F)ですが、N-PL541-15-SY(F)も各部の名称・機能は同様です。

ダミーポイントモーター台…1個



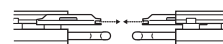
ダミーポイントモーター…1ランナー

ダミーポイントモーター台
(ワイド化バラストキット用)…1個

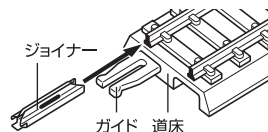
●レールの接続とジョイナーについて

図3

①レールを接続する場合は、ジョイナーの角度を水平に調整してください。



②ジョイナーがはずれた場合は、ジョイナーの向きに注意して取り付けてください。尖った部分がありますので、ケガなどないように注意してください。



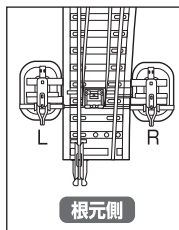
●交換用パーツ ジョイナー 0110

●ダミーポイントモーターの取り付け方

ポイント本体には、実物の形態を模したダミーポイントモーターをお好みにより取り付けることができます。パーツを使用する場合は、図4のイラストを参照してください。なお、パーツを取り付けなくても、ポイントとしての機能に問題はありません。

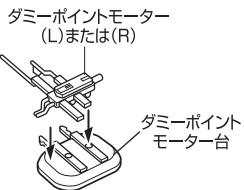
図4

※ダミーポイントモーターの位置は根元側を手前に見て、Lが左側、Rが右側です。

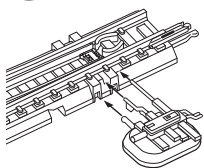


ダミーポイントモーター台

1. 各パーツをランナーよりいねいに切りはなし、ダミーポイントモーターをダミーポイントモーター台へ、向きに注意しながら取り付けます。



2. ダミーパーツを取り付けた台座を、ポイントレール本体に差し込みます。ダミーポイントモーターはLとRで差し込む方向が異なりますのでご注意ください。



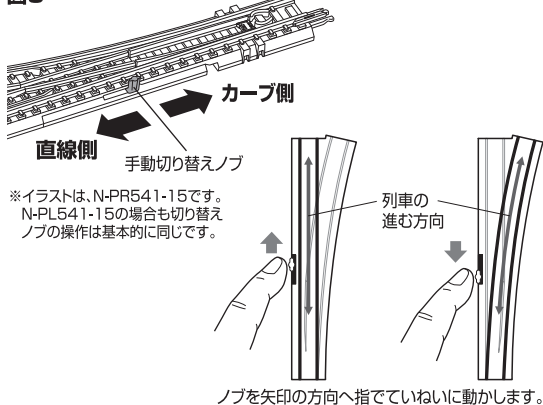
ダミーポイントモーター台（ワイド化バラストキット用）

ダミーポイントモーター台（ワイド化バラストキット用）は、〈3034〉ワイドレール化バラストキット（F）（PR（L）541（280）・PX280対応）に付属の説明書を参照してご使用ください。

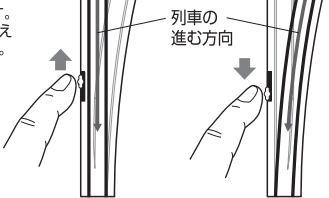
●ポイントの切り替え方法

ポイントは、図5のように切り替えノブを指で操作することで切り替えられます。

図5



※イラストは、N-PR541-15です。N-PL541-15の場合も切り替えノブの操作は基本的に同じです。

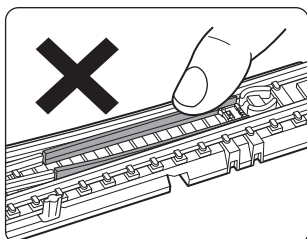


ノブを矢印の方向へ指で押さないで動かします。



ご注意

先端レール（トンダレール）は手で直接持ちたり、操作しないでください。



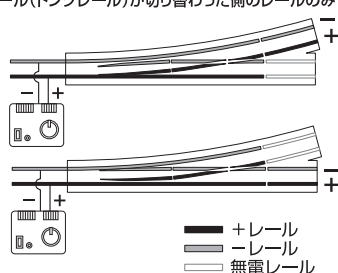
●ポイントについての知識

本製品は、列車の進行方向を切り替える機能の他に、以下の機能を備えています。

図6

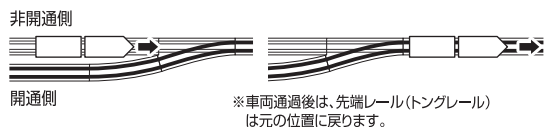
■電氣的構造（通電状態）

本製品は、電氣的構造に「完全選択式」を採用しています。ポイント分岐側寄りにはギャップが設けられており、先端レール（トンダレール）が切り替わった側のレールのみに通電し、切り替わっていない先のレールには、電気を流さない構造になっています。複雑なポイント配置やループ線なども従来よりかんたんな電気配線で楽しめます。



■スプリングポイント機能について

下の図の様に、車両が非開通方向からポイントに進入する場合、車輪でポイントの先端レール（トンダレール）を押して通過することができます。



※車両通過後は、先端レール（トンダレール）は元の位置に戻ります。

スプリングポイント機能を利用してポイント部を通る場合、かならず全ての車両を通過させてください。途中で進行方向を変えると、脱線・故障の原因となります。なお、軽量な車両や台車については対応しておらず、脱線する場合がありますので、ご注意ください。

※イラストなどは製品と一部異なる場合があります。

修理が必要な場合、あるいは故障箇所が不明なときは、お買い上げ店にご相談ください。

また、トミーテックへお問い合わせの場合には、

トミーテックお客様相談室 トミックス係

TEL : 03-3695-3161(代) までご連絡ください。

電話受付 月～金曜日（祝・休日除く）10～17時

本製品のお客サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限りです。
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

TOMYTEC 発売元
株式会社トミーテック

〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10

2025/07 更新版